

平成30年第1回（3月）豊後大野市議会定例会 一般質問

3月5日（月）

4 番 穴見眞児 議員

質問事項	質問の趣旨
1. 災害復旧について	<p>① 昨年の台風18号により農地、水路等甚大な被害が生じました。災害査定が終わり工事の発注が行われたところですが、現状と今後の見通しについて伺います。</p> <p>② 今年の田植え時期に向けての復旧が困難である場合、その対応を市としてどのように考えるか伺います。</p>
2. 教職員の長時間労働について	<p>① 学校現場における長時間労働については深刻な問題となっており、豊後大野市でも例外ではないと思われます。市ではその実態を把握しているのか伺います。</p> <p>② 今後、長時間労働の解消に向けてどのような対策を行っていくのか伺います。</p>

9 番 神志那文寛 議員

質問事項	質問の趣旨
1. 生活保護基準引き下げは、市民にどのような影響をもたらすか	<p>いま国会で、5年に1度の生活扶助基準の見直しが議論されています。厚生労働省の発表では、生活扶助費については最大で5%を削減し、推計で67%の保護受給世帯が減額になるということです。また、生活保護基準を引き下げると、47の低所得者向け事業について影響が出ることも発表されています。</p> <p>生活保護制度は、日本国憲法第25条に定められた健康で文化的な最低限度の生活を、全ての国民に保障する極めて重要な基準です。アベノミクスの下で格差が拡大し貧困が広がる今においては、生活保護の基準の引き下げは言語道断であり、むしろ制度の積極的な活用が求められていると考えます。</p> <p>① 今回の見直しが行われた場合、豊後大野市における生活保護にはどのような影響が考えられますか。 また、引き下げとなる世帯が出ないよう、対応すべきではありませんか。</p> <p>② 生活保護基準を引き下げると、保護を受けていない低所得者向け47事業に影響するとのことですが、引き下げの影響が出ないよう対応すべきではありませんか。</p> <p>③ 政府に対して、生活保護基準を引き下げないよう要請すべきではありませんか。</p> <p>④ 生活保護制度についての正しい情報を広報すべきではありませんか。</p>

<p>2. JRの大幅減便に、どう対応したか</p>	<p>JR九州は3月17日のダイヤ改正で、九州全路線で117本の大幅な減便を行い、豊肥本線の豊後大野市民に係わる部分でも、普通列車3本、特急列車1本の減便であり、一般市民や学生、また力を入れてきた観光客の誘致にも大きな影響を与えていると思われます。</p> <p>この減便については、関係自治体にも十分な説明がなかったとのことであり、驚きと怒りの声が上がっています。</p> <p>かつての国有鉄道から民営化され、株式会社として株主の利益を優先するばかりの経営をすれば、過疎・高齢化が進む地域はますます住みにくくなり、その衰退に拍車をかけるのではないのでしょうか。住民の移動の権利を安全に確保する公共交通機関としての役割を果たしていただいてこそ、住民もまた鉄道を見直し、利用の拡大へつながるものと考えます。</p> <p>この減便計画に対して、豊後大野市として住民の利益を守る立場で対応すべきと考えますが、どのように対応していますか。</p>
----------------------------	---

7 番 赤峰映洋 議員

質問事項	質問の趣旨
<p>1. 学校教育の将来は</p>	<p>① 今後の生徒数の推計は。現状からおおむね10年後の予想生徒数。</p> <p>② 教育現場の問題点は。教職員の職場環境のこれからの改善、改革について。</p> <p>③ 学校図書館の今後のあり方は。主に司書との連携について。</p>

6 番 川野優治 議員

質問事項	質問の趣旨
1. 豊後大野市の農業振興について	本市の農業の現状と課題、そして将来展望について伺う。
2. 教育行政について	① ふるさと教育はどのように実践されているのか。 ② 本市における「いじめ」の実態と対策は。

平成30年第1回（3月）定例会一般質問

3月 6日（火）

10 番 杵掛義範 議員

質問事項	質問の趣旨
1. 今後の水田農業の取り組みについて	平成30年度から米の減反政策の廃止や水田の直接支払交付金の廃止に伴う、今後の豊後大野市内における水田農業の取り組み策は。
2. 肉用牛の振興について	子牛価格の高騰による素牛（導入牛）の導入牛資金の拡充（貸付け額）は。
3. 加工用農産物に対する市の取り組みは	新たに農産物加工施設も誘致し、市内に大きな施設を有する本市としては、加工用の農産物の確保を今後どのように取り組むのか。
4. 市役所における分煙対策について	市役所本庁には現在、玄関先と5階に喫煙場所はあるが、分煙対策はなされていないように思う。市としては、受動喫煙防止対策について、どのように考え、対応していくのか。

15 番 宮成昭義 議員

質問事項	質問の趣旨
1. 中九州横断自動車道開通に伴う県道 57 号の交通量は激減、閑散としている周辺地域の対策について	中九州横断道路は、犬飼千歳間を皮切りに朝地まで 19.3 キロメートルが開通し、平成 30 年度には朝地竹田間の 6 キロメートルが開通予定で、交通の便は良くなります。その反面、県道 57 号沿線の周辺地域では交通量の減少に伴い、商店の閉店や空き家の増加など過疎化が進み、町の基盤を損ねかねない状況にあると考えます。この県道 57 号沿線における周辺地域の現状をどのように捉えているのか伺います。
2. 持続可能な豊後大野市づくりの将来像と若者の定住対策について	<p>① 豊後大野市の未来を見すえ、「持続可能な豊後大野市づくり」の実現に向け取り組むとの事ではありますが、持続可能な豊後大野市づくりの将来像をどのように捉え、称しているのか伺います。</p> <p>② 公約の一つである「働く場の確保」、いわゆる地域に若者が残るまちづくりを進めるとの事ではありますが、本市は平成 17 年合併以降 6,000 人以上人口が減少し、高齢化率も 41%を超えている状況であります。具体的にどのように取り組もうと考えているのか伺います。</p>

3 番 吉藤里美 議員

質問事項	質問の趣旨
1. 人権啓発の推進について	<p>① 「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行され、2年目を迎えています。今後、部落差別解消のためどのような施策を展開するのか伺います。</p> <p>② 男女平等と男女共同参画社会の実現についての取り組み状況について伺います。</p>
2. 歯と口の健康づくりについて	<p>「歯と口の健康づくり」について、今年度の実績と平成30年度の計画について伺います。</p>
3. 高齢者が安心して暮らせるまちづくりについて	<p>豊後大野市老人福祉計画、第7期介護保険事業計画の策定において、以下の項目について、どのように推進していくのか伺います。</p> <p>① 「介護人材の確保と資質の向上」について</p> <p>② 「高齢者の自立支援・重度化防止等の取組」について</p> <p>③ 地域包括支援センターの強化について</p>

1 番 後藤雅克 議員

質問事項	質問の趣旨
1. 移住定住の促進及び地域おこし協力隊について	① 移住定住の取り組みについて伺う。 ② 地域おこし協力隊の活用について伺う。
2. 図書館及び資料館建設基本計画について	① 新図書館及び資料館の建設計画に至った経緯について伺う。 ② 新図書館、資料館の配置と規模並びに整備等に関する事業計画について伺う。